

國學院大學學術情報リポジトリ

国学研究会・社家文書研究会

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-07-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002000577

国学研究会・社家文書研究会

日本文化研究所では研究事業「[国学研究プラットフォーム]」の展開と国学史像の再構築の一環として、2019年度も国学研究会を開催した。これは研究所の神道・国学部門が長年行ってきた研究会を継続するものであると同時に、上記研究事業の三本の柱である「近世・近代国学に関する研究史・学説史の整理と国学史像の再構築」、「国学・神道関係人物データベースの拡充」、「国学研究ネットワークの拡張」のうち、第三の研究ネットワークの拡大も兼ねて開催されるものである。

具体的には月一回程度、学内外から神道・国学などを研究する若手研究者が集まり、各自の最新の研究について発表することを基本的な内容とする。本年度開催された研究会の日時と発表者、発表題目は以下の通りである。なお、会場はいずれも國學院大學AMC棟5階プロジェクトルーム2であった。

- ① 2019年5月23日18:30~20:00
齋藤公太『「神国」の正統論』（ぺりかん社）の書評会
- ② 2019年5月28日18:30~20:00
権東祐（韓国・靈山禅学大学校）「教派神道の朝鮮布教からみる近代神道の様相—神道修成派・黒住教・神宮教を事例に一」
- ③ 2019年7月18日18:30~20:00
鈴木健多郎（國學院大學大学院）「内山真竜と本居宣長の交流—『古事記謡歌註』研究のために—」

④ 2019年12月12日18:30~20:00
相澤みのり（佛教大学大学院）「明治初年の平田家—平田胤雄の動向と継承—」

⑤ 2020年1月23日18:30~20:00
国学概説書内容原案の検討
齋藤公太（國學院大學研究開発推進機構）「第2章 元禄期 契沖、光圀」
間芝志保（同上）「第13章 「新国学」の提唱」

以上のように本年度は計5回の国学研究会を開催した。昨年度と同様、「国学研究のネットワークの拡張」の役割を分担するものとして「国学研究プラットフォーム公開レクチャー」も計3回開催したため、研究会の回数自体は減少したが、内容面では多岐にわたる充実したものとなった。本研究事業は新たな国学史像を構築し、国学概説書によりそれを社会に向けて発信することを第一の目標に掲げているが、第5回の研究会のように、国学研究会を通して国学史像の一部と概説書の内容案について協議することもできた。

また、これまで国学研究会と並行して、国学・神道関係史料の講読を目的とする社家文書研究会も開催してきた。本年度は2019年10月3日18:30~20:00に、國學院大學神道文化学部が所蔵する大武秀斎関連資料の調査と整理を行った。秀斎は禊教にも関与した明治期の平田派国学者であり、調査の成果は国学史像の再構築にも生かされることになるだろう。

（武田幸也）